

ミクロ経済学演習 9

矢野 誠

問 1. 消費者 A の x 単位の財 X に関する総支払用意が

$$TW = -x^2 + 20x$$

と書け、企業 B が y 単位の財 X を生産するための総費用が

$$TC = (y + 1)^2$$

と書けるとして、以下の問に答えよ。

- A. X の価格を p として、消費者 A の需要関数を求め、図示せよ。
- B. 企業 B の固定費用はいくらか。
- C. 企業 B の限界費用関数を求め、図示せよ。
- D. 企業 B の供給関数を求め、図示せよ。
- E. 企業 B の損益分岐点を求め、問 D の図に書き入れよ。
- F. 社会的最適配分における生産量＝消費量を求めよ。
- G. 消費者 A と企業 B だけが参加する完全競争市場が存在するとしたら、均衡では、社会的最適配分が達成されることを示せ。また、均衡価格はいくらに定まるか。

問 2. 完全競争市場の定義を述べよ。(ヒント、教科書、「ミクロ経済学の基礎」参照)

問 3. 実際の経済に存在する以下の市場のうち、経済学で定義する完全競争的市場に近いと考えられるものから順にならべ、完全競争市場の定義に沿って、理由を説明せよ。

コーヒー豆の市場、小麦の市場、米の市場、野菜の市場、自動車の市場、ビールの市場、日本酒の市場、コーラの市場、住宅の市場、タクシーの市場、航空旅客運送の市場、ミクロ経済学の教科書の市場、ラーメンの市場、コンビニの市場。

問 4. 長期の完全競争市場では、市場供給曲線が水平になると考えられている。この結論が成立するための仮定を述べて、説明せよ。